

郡上農林事務所の普及活動状況

令和2年1月24日現在

今月の重点活動

■ 担い手 農業出前講座を開催

郡上地区青年農業士連絡協議会(会員7名)が、郡上市の農業の現状、農業の魅力等を若い世代に知ってもらうために、1月14日に郡上高校で農業出前講座を実施した。

当日は、青年農業士の河合研さんが講師を務め、園芸科学科21名を対象に、郡上市の魅力、自身の就農に至る経緯、現在の経営内容、地域との関わり等について説明し、生徒からの質問に、自身の経験を踏まえてアドバイス等を行った。

農業普及課は、青年農業士連絡協議会の活動について、行事内容への各種助言、調整の支援を行っており、今後も関係機関と連携を図り、会の活動支援を続けていく。



【出前講座の様子】

新たなブランドづくり

■ 郡上花き園芸組合 冷涼な気候を活かした商品づくりの支援活動

農業普及課では、フランネルフラワー・ファンシーマリエの郡上地域に適した栽培管理の支援を行っている。

ファンシーマリエは、岐阜県農業技術センターが育種し、郡上地域で2名の生産者が栽培を行っている。

1カ月に2回の間隔で、草丈、芽数などの生育や肥料の養分吸収量を調査し、肥培管理について生産者に提案する他、病害虫の発生状況の把握を行っている。

郡上地域では、全体の流通量が少なくなる10月中旬から出荷できる栽培体系を目指す。

生産者から「物が少ない時期に出荷できるとチャンスが広がる。また、他の品目との組合せにも期待できる」との意見が上がっている。

今後も、農業普及課では、地域に適した管理について調査を行い、情報提供を行うこととしている。



【フランネルフラワー
生育状況の様子】

多様な担い手づくり

■ 新規就農 新規就農者研修へ講師派遣

JAめぐみのは、来年度の新規就農者等を対象とした研修会を年間を通じて開催している。第13回を迎えた1月17日には農業経営をテーマとした研修会が本店で開催され、郡上農林事務所から講師を派遣した。

研修は、適切な経営計画を立てるためには現状の正確な分析が必要であり、そのためにどんな手法でどう取り組むか、財務諸表を見る際のポイント、社会保険制度などについて説明した。

まだ経営を始めていない大半の研修生にとっては、イメージしにくい話題であったが、熱心に耳を傾けていた。

農業普及課は、中濃圏域の可茂・中濃農林事務所と連携して、今後も研修会の開催を支援していく。



【研修会の様子】